

[新]CSR 検定第3回2級試験（2018年4月22日）正答解説

【訂正】問題20で「持続可能な消費行動」と誤って記載されておりました。正しくは、「持続可能な消費行動」です。お詫びして訂正いたします

1 ■選択式問題（1点×25問）

問題1 「CSR担当者に求められる思考と行動」に関する次の記述のうち、適切なものはいくつあるか。

正答：ウ（3つ）（適切：1、3、4）

公式テキスト第1章-1、CSR担当者に求められる思考と行動

問題2 「中堅・中小企業のCSR戦略」に関する次の記述のうち、間違っているのはどれか。

正答：ウ

公式テキスト：第1章-2、中小企業のCSR戦略

問題3 「CSRとCSV」に関する次の記述のうち、適切なものはいくつあるか。

正答：イ（2つ）（適切：1、3）

公式テキスト：第1章-3、CSRとCSVの違いと新しい位置づけ

問題4 「欧州のCSR新戦略」に関する次の記述で、最も不適切なものはどれか。

正答：エ

公式テキスト：第1章-4、欧州でのCSRの流れ

問題5 アジアのCSRに関する次の記述のうち、間違っているものはどれか。

正答：エ

公式テキスト：第1章-5、アジアでのCSRの流れ

問題6 「国連ビジネスと人権に関する指導原則（以下、指導原則）」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：第2章-2、ビジネスと人権に関する国際枠組み

問題7 以下の4つのうち、CoC（管理の連鎖）認証が整えられているものはどれか。

正答：ウ

公式テキスト：第2章-3、社会・環境に配慮した認証制度

問題 8 英国「現代奴隷法 2015」に関する次の文章の空欄に当てはまる語句で、適切なものの組み合わせはどれか。

正答：エ

公式テキスト：第 2 章-6、ハードロートソフトローの新潮流

問題 9 米国の金融規制改革法（ドッド＝フランク・ウォール街改革・消費者保護法／通称ドッド・フランク法）第 1502 条において、紛争鉱物として規制対象となる希少金属は、以下のうちいくつあるか。

正答：イ（2つ）（正しい：1、3）

公式テキスト：第 2 章-5、ハードロートソフトローの新潮流

問題 10 以下の規格のうち、2012 年のロンドンオリンピック・パラリンピック大会に向け策定され、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向けても、同大会組織委員会が取得を明言しているものはどれか。

正答：ア

公式テキスト：第 2 章-1、国際的な枠組み

問題 11 「ステークホルダーダイアログ」に関する次の記述のうち、正しいものはいくつあるか。

正答：ア（1つ）（正しい：4）

公式テキスト：第 3 章-6、ダイアログとエンゲージメント

問題 12 CSR の目標設定の考え方に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

正答：エ

公式テキスト：第 3 章-4、指標の設定とインパクト評価

問題 13 統合報告の考え方に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

正答：イ

公式テキスト：第 3 章-5、情報開示/レポートニング

問題 14 CSR の社内浸透において重要とされる要素についての次の記述のうち、正しいものはいくつあるか。

正答：ア（1つ）（正しい：4）

公式テキスト：第 3 章-1、CSR マネジメントの考え方
第 3 章-2、基本方針と体制構築

問題 15 マテリアリティの特定についての次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

正答：エ

公式テキスト：第 3 章-3、マテリアリティの特定

問題 16 「CSR として望ましいステークホルダーエンゲージメント」に関する記述で、適切なものはいくつあるか。

正答：ア（1つ） （適切：3）

公式テキスト：第4章-1、ステークホルダー目線の重要性

問題 17 政府や自治体の企業に対する基本的な「期待」と言えるものは以下の中でいくつあるか。

正答：ウ（3つ） （適切：1、2、3）

公式テキスト：第4章-1、ステークホルダー目線の重要性

問題 18 「企業のステークホルダーとしての NGO」に関する記述で、最も不適切なものはどれか。

正答：ア

公式テキスト：第4章-2、CSR における NGO/ NPO の役割

問題 19 「NGO の企業評価」に関する次の記述のうち、正しいものはいくつあるか。

正答：イ（2つ） （正しい：1、2）

公式テキスト：第4章-2、CSR における NGO/ NPO の役割
第4章-3、NGO/NPO による企業評価

問題 20 「持続可能な消費行動」に関する次の記述のうち、不適切なものはいくつあるか。

正答：イ（2つ） （不適切：2、4）

公式テキスト：第4章-4、消費者の役割/エシカル消費/サステナブル消費

問題 21 「コンプライ・オア・エクスプレイン」に関する次の記述のうち、適切なものはいくつあるか。

正答：イ（2つ） （適切：2、4）

公式テキスト：第5章-4、コーポレート・ガバナンス・コード

問題 22 「ESG 投資の流れ」に関する次の文章の空欄に当てはまる語句で、適切なものの組み合わせはどれか。

正答：ウ

公式テキスト：第5章-2、ESG の情報発信/サステナブル投資の流れ

問題 23 ISO14001 の発行が環境報告書の進展に大きく貢献したと言われるが、その理由についての説明で、最も適切なものはどれか。

正答：ウ

公式テキスト：第5章-1、サステナビリティレポートのガイドライン

問題 24 「日本におけるダイバーシティ」に関する次の文章の空欄に当てはまる語句で、適切なものの組み合わせはどれか。

正答：エ

公式テキスト：第5章-3、東京五輪とダイバーシティ

問題 25 「2015年はパラダイム転換の年」といわれ、パラダイム転換を象徴する世界的動きとして、「SDGs」「パリ協定」「TCFD」の3つが挙げられる。次の文章の空欄に当てはまる語句で、適切なものの組み合わせはどれか。

正答：ア

公式テキスト：第5章-5、今後を方向付けるSDGs、パリ協定、TCFD

2 ■ 記述式問題 (10点×2問)

※ [新] CSR 検定2級公式テキストで触れていなくても、正しいと思われる記述は評点の対象とします

問題 1：企業のCSR担当者はどのような思考方法や行動規範を求められるか、記述しなさい

<解答例>

まず、「CSR＝企業の社会的責任」という直訳語だけでなく、「CSR＝企業の社会対応力」という視点に立つこと。企業や組織が、NGO/NPO、行政や市民などのステークホルダーと円滑な関係を築くためにもステークホルダーダイアログの積み重ねが重要である。CSRの意義とメリットをよく理解し、自ら戦略を立て、社内の他部署と連携し、経営陣の判断にもプラスの影響を与えることが求められる。さらに、長期的・サステナブルな経営視点も必要だ。ISO26000、日本版ステewardシップコード、コーポレート・ガバナンス・コードというCSRのさまざまなガイドラインは共通して企業に長期視点を求めている。「弱者への配慮」という視点も大事だ。具体的には開発途上国や最貧国における貧困層、教育や医療を受けることが困難な層、障がい者、LGBTなど性的マイノリティ、高齢者、さまざまな事情で職を持つことが困難な人たちなどを指す。(397文字)

問題 2：社会におけるNGO/NPOの役割とは何か、そして企業はNPOとどう向き合うべきか記述しなさい

<解答例>

NPOは社会的弱者や声なきステークホルダーの声を代弁するほか、企業の監視者「ウォッチドッグ」としての機能がある。不法行為や不適切な行為を行っている企業に対して、NGO/NPOの主張が正当であれば、多くの人々の支持を得ることで、NGO/NPOは社会正義の代弁者となる。企業は、政府の取り締まり、評判の毀損、売り上げの低下、ひいては株価の下落のような事態に見舞われる可能性があるため、こうしたNGO/NPOの主張には前向きに対処する必要がある。CSRに積極的な企業であれば、こうした事態に陥る前に、ステークホルダーの関心に敏感に対応し、適切な対処をすることであろう。さらに、企業が社会的課題の解決に資するビジネスの実施を意図している場合には、その社会的課題において専門性が高いNGO/NPOがパートナーになることで、地域社会や関係者へのアクセスを得やすくなるなど、事業を成功に導く手助けも期待できる。(397文字)